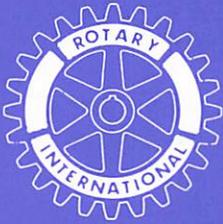


THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



WEEKLY

なごや ちくさ

題字 黒野 貞夫

名古屋千種ロータリークラブ
 承認 1982年 8月24日
 例会日 火曜日 12:30
 例会場 愛知厚生年金会館
 事務局 ☎763-5110
 会長 秋山 茂則
 幹事 和田 正敏
 会報委員長 佐野 寛

No. 4

自分を越えた眼を LOOK BEYOND YOURSELF

1991~92年度 RI会長 ラジェンドラ・K・サブー

第442回例会 平成3年7月23日(火) 晴

◇ “奉仕の理想”

◇ 出席報告

会員 67名 出席 57名
 出席率 85.07%
 前回 7月16日(修正出席率)95.52%

◇ ビジター紹介 11名

◇ お誕生日祝福

大口夫人(7/27)、加藤(敏)夫人(7/29)

◇ ニコボックス

秋山 茂則君 今日の笑顔よろしく！ゴルフ会優勝有難う。ハンディ36は恥しい。
 小山 雅弘君 先日のゴルフ会取り切り戦で優勝し、山本先生の素敵なおブロンズを頂きました。成田前会長ありがとうございます。
 石田 耕嗣君 先日、家内がゴルフ会取り切り戦で優勝しました。
 西尾 正巳君 出席委員会の顔合わせにて、中山委員長、松島さんお世話になりました。
 竹内 真三君 ニコニコデーって何ですか？分かりませんがとにかく。
 大谷 和雄君、和田 正敏君 今日も笑顔で
 新美 敢君 早退させていただきます。
 加藤 敏昌君、大口 弘和君 夫人誕生日祝い。

◇ 和田幹事報告

1)、本日例会終了後、臨時総会を開催いたしますので、全会員の方そのままお残り下さい。
 臨時総会終了後、第1回クラブアセンブリーを開催いたしますので、理事役員・各

委員長は芙蓉の間にお集まり下さい。

- 2)、第2630地区高山中央RCより認証状伝達式(10/13)のご案内が来て居ります。参加希望の方は、事務局までお申し出下さい。
- 3)、ロータリーの友7月号が来て居りますので、お帰りにお持ち帰り下さい。
- 4)、次回例会終了後、理事役員会を開催致しますので、理事役員の方はお残り下さい。

◇ 秋山会長挨拶

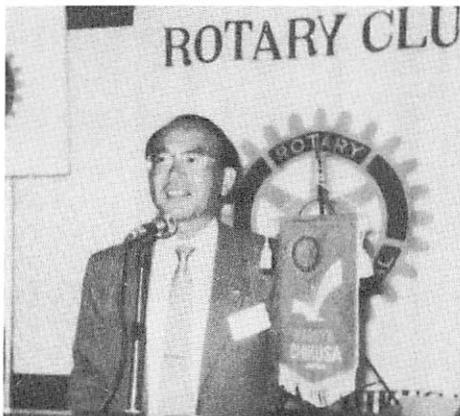
最近の経済界

今朝のニュースで野村証券田淵会長の辞任を報じていた。十日前には辞めないと云っていた。急な変心はどうゆうことかと疑念をもつ人は多いと思う。最近の経済界のニュースには、首を傾げたくなるものが多い。月間朝日8月号の記事を紹介したい。「ここ数年の投機化経済時代に相次いでいる経済事件の大きな特徴は、“エリートたちの犯罪”という点だ。土地や株、巨額脱税にからむ事件は、情報や権力、複雑なネットワーク、カネを動かせる地位…などがなければ、とても達成できない仕組みとなっている。実際・犯罪の裏には、株のインサイダー取引、土地の規制緩和にからむ事前情報、大がかりな地上げや市場を動かす巨額な資金などがあり、いずれも企業のトップや官僚、政治家たちが、密室の世界で互いに利用しあって形成した事件ばかりなのである。しかしエリートたちが、情報と地位、カネなど使い、時に暴力団などを利用して地上げや株を動かしているうちに、いつのまにか日本的な健全な経営風土がじわじわと侵され始めていたともいえる。伊藤寿永光らをうまく利用していたつものイトマンが、気がついてみれば、伊藤の系列企業に三

千億近い焦げつき融資をさせられていたのは、その典型的ケースだ。しかも、そうした手口と現象はイトマンに限らず、蛇の目ミシン、国際航業、雅叙園観光などの上場企業を舞台に相次いで行なわれ、まさにマフィア資本主義ともいべき実態がジワジワと侵透しつつあるといえるのである。こうしたマフィア資本主義への危機感から、検察庁や国税庁が動きだし、暴力団新法も作られた。しかし、裏の世界にいた暴力団たちを表の世界に引っ張り出し、味をしめさせたのは、ほかならぬ大企業のトップと金融機関であることを思い知るべきだろうと結んでいます。経営者というものをあらためて考えさせられる今日此頃です。

◇ 講演

“当面の電力需給”
中部電力㈱広報室部長
寺垣 鐵雄氏 (紹介 大矢君)



[はじめに]

今年の夏は、電気の需給が逼迫し、皆様に「今年の夏は大丈夫か」「電気は足りるのか」等いろいろとご心配をおかけし、心苦しい限りでございます。

のちほど、今年の夏の供給体制についてご説明させていただきますが、よほどのことがない限り、『この夏は大丈夫』だと考えておりますことをまず、申し上げます。

[産業・豊かさをささえる電気]

電気は「産業の米」とか「生活文化のパロメーター」とかいわれ、スイッチをつけさえすれば、水や空気と同じようにあるのが当然と思っていらっしゃる方が多いのではと存じます。

この電気の使用量がここ2、3年6%前後の大幅な伸びを示しています。

例えば、生活関連用としては、ご家庭での

暑さをしのぐ道具が「うちわ」から「扇風機」「エアコン」へと移り変わってきていますように、電子レンジ等家庭の電気製品の種類も多くなるとともに普及率も大変な勢いで伸びています。

また、オフィスや工場に目を向けますと、自動車やICのように貿易摩擦を引き起こすほど生産が増加しているうえ、最近では人手不足のため、職場の環境を快適なものにしていけないと若い人達は来てくれないとかで、かつて汗まみれの中で働いていた工場にも、今やクーラーが入る時代となってきています。

こうした結果、電気の使用量が増え続けているのです。

[電気の使われ方]

このように、電気は使用量が増え続けるだけでなく、使われ方も変わってきています。

昔は暖房用を中心に冬にピークがあったのですが、昭和45年を境に夏に一番多く電気が使われだし、年々その格差が拡大し、昨年では電気を使わない4月の1.4倍も8月は使うようになってきています。

なお、平成2年度の電気使用量は998億kWhと45年度の2.5倍多くの電気を使っています。同じく2年度の最大電力は2205万kWh(3日最大)と、45年度の3倍に増えています。

電気は貯蔵できないので発電と消費をいつも同時に行なっていく必要があります。このkWに見合う発電所を作らないと、夏に電気をお届けすることができなくなります。

[予備力]

そこで、私どもでは、この様な電気の使われ方を常に予測し、これに見合う発電所を備えているわけです。

ところがこの電気の使われ方は、先ほど申しましたように季節で大きく変化するうえ、一日の内でも昼は夜の2倍近く使うといった具合に激しく変化します。さらに、気象状況や生産活動などによっても大きく変動します。

例えば、晴れの日に比べ、曇や雨は昼間でも照明需要として70万kWという発電所1基分に相当する電気が多く使われますし、エアコンの設定温度を1度下げただけでも65万kWと、同様に多量の電気が使われます。さらにTVの視聴率が1%上昇すると、普通のご家庭の3000軒分に匹敵する約1万kWの電気が増えるのです。

また、工場がお休みの土・日曜日、祝日とウィークディでは大きな格差を生じています。

しかしながら、気象条件や出水変動などは、人智の及ぶものではありませんし、いくら気

をつけても発電所は機械ですから、トラブルをゼロにすることは難しいわけです。

そこで、予想最大電力に対して、その8～10%に当たる余裕を確保していくようにしております。これを予備力と呼んでおります。

〔昨年の実績分析〕

昨年夏においても、63年・平成元年と2年続いた、1年あたり約100万kWの増加傾向と、順調な景気を見込み元年より112万kW増加の2080万kW(3日最大)と予想したわけです。

この場合でも、発電能力は、2269万kW、9.1%の余裕を持ち、自信を持って夏場にのぞんでいました。

ところが、実績は、想定を125万kWも上回る2205万kW、前年に対して12%増加という大幅なものでした。9.1%の余裕をほぼ使い切って予備力2.2%、何とか夏場を乗り切ったわけです。

この125万kWの伸びを分析してみると、ひとつには、昨年は35℃を越える酷暑日が連日続き、この猛暑で最大電力が60万kW増加したとみえています。

残る65万kWは、ここ数年続いた景気拡大により、お客さまが電気の契約を予想以上に増やされたことによるものです。その内訳は、工場のフル操業等で35万kW、クーラーや大型家電製品の普及拡大等で30万kWとみえています。

工場全体に冷房が入り、新しいビルほど入った途端に汗がひくといった快適空間が多くなってきていますが、これが酷暑とともに一斉に動きだし、発電所があえいでいたというのが、昨年夏の実態だったと言うことになります。

〔一日の電気の使われ方〕

一日の時刻ごとに電気の消費量の合計を折れ線グラフにしたものをロード・カーブ(負荷曲線)といいます。

深夜は、昼間のピークの約1/2となりますし、お昼休みには、300万kW近い電力が急に減ります。

家庭、工場のひとつひとつの小さな積み上げがピークを形成しているのです。このピークが今、『電気は大丈夫か』と我々に問いかけている問題なのでありまして、このわずか1時間への私どもの対処の仕方が問われているのです。

〔3年度夏季需給対策〕

先ほど冒頭に、今夏の電力供給は、よほどのことがない限り大丈夫と申し上げましたが、その根拠についてお話をさせていただきます。

まず、今年の夏の最大電力の予想ですが、

景気動向や夏の気温等から多角的に検討した結果、2267万kWと想定いたしました。ご承知のとおり6月26日に6月としては過去最大の電力を記録しており、予断を許さない状況にあります。

次にこの需要に対応した供給力を準備しなければ、皆様に電気をお届けできません。供給力の増加に見合った新しい発電所が必要なのですが、発電所づくりには、10年以上かかります。昭和63年から3年連続で、毎年100万kWを越える最大電力の伸びを示し、発電所の余裕が年々少なくなってきています。

これに対する今年夏の供給力としては、予想した2267万kWに昨年のような高気温日(36～37℃)が発生した場合にも安定供給ができるよう3つの対策を進めることにより191万kWを加え、2458万kW、8.4%の予備力を何とか確保いたしました。

この3つの対策といいますのは、まず、電源逼迫の折りですので、発電所の補修を夏季には避け、全部発電できる状態にしました。さらに、補修期間の短縮についても工夫をこらしております。

つぎに、10月運転開始をめざし運転中の碧南火力1号(70万kW)を夏場のピーク時間にフル稼働できるように調整しました。

最後に、これでも自社発電所だけでは十分な余裕が取れませんので8月には、関西・北陸・中国・九州の各電力に合計45万kWの融通をお願いしました。

こうした対策により、今夏は、8.4%の予備力が確保できましたので冒頭のとおり、よほどのことがない限り『この夏は大丈夫』と申し上げることができるのです。

〔消費対策〕

こうした当社サイドの対策とは別に、万が一の場合の緊急避難策として、73万kWと大型火力1基分に相当する電気の使用調整のご協力を工場など大口のお客さまにお願いいたしました。

また、従来から大きな工場のお客さまにお願いしておりますのが、例えば電気が多く使われる夏場について休業日を平日に振り替えていただく契約や、昼間の仕事を他の時間帯に振り向けていただく契約などについても引き続きお願いしております。

こうした供給力不足の面だけでなく、湾岸戦争や地球環境問題がわれわれのエネルギー消費の姿勢に再び反省を迫ってきておりまして、省エネルギーがクローズアップされてきています。

省エネは使用量が少なくなることで地球環境にやさしく、日本のエネルギーの輸入量も減らすことができますし、最大電力を引き下げるといった具合にいいことづくめです。しかし、豊かさやゆとりの実感が強く求められている今日、「我慢せよ」だけではなかなか長続きしません。

そこで、私どもは、お客さまに限りあるエネルギーから生まれる電気を上手にお使いいただきたいと考え、資源の無駄使いを省きながら電気の持つ「安全」・「清潔」・「便利」といった優れた特性を生かした効率良い快適な暮らしの実現をお手伝いさせていただき活動を続けています。

お手元にごございますパンフレット『かしこく使っていい暮らし』は、家庭で「ちょっと工夫」いただければ効果が期待できるものについて提案させていただいたものです。

私どもでは、チラシをお配りしたり、新聞などのマス・メディアにより機会をとらえてPRを進めております。もちろん当社の営業所は、いつでもご相談にあずかりたいと準備を整えております。是非、ご用命いただきたいものです。

また、ビルや工場での電気の効率的な使用方法につきましてもコンサルティングさせていただいております。

一方、社会システム全体を省エネに適したものにしていく必要があるとの観点からヒートポンプ利用による熱エネルギーシステムについても、都市再開発などに合わせ提案させていただいております。

私どものやるべきことは、まだまだたくさんあります。みなさまに参加いただくことにより進むものがたくさんあります。是非お手元の「かしこく使っていい暮らし」をご一読いただき、ともにエネルギー効率化社会に向けての歩みを進めてまいりたいものです。

[最後に]

いろいろと申し上げましたが、ここで簡単にまとめさせていただきますと、

今年の夏は、昨年の夏の経験を良く勉強させていただきましたので、よほどのことがない限り、十分電気はお届けできるということ、

しかし、電気は限りある石油や石炭などの化石燃料に多く頼っておりますので貴重なエネルギーとして大切に使うよう呼び掛けを続けてまいりたいということ、

最後になりますが、電気の消費は中長期的に見ても増え続けると予想されています。これに対する供給力の確保については、地球環

境保全の観点からも可能な限り石油や石炭などの化石燃料離れをして、原子力を柱にいわゆる新エネといわれています自然エネルギーの開発等を含めて対処していきたいと考えておりますのでご支援をお願いいたしましてお話の締めとさせていただきます。

第75回 ゴルフ会成績

		四日市カントリーG. C. 7/18(木)			
RANK	NAME	Out	IN	G	H'cp NET
優 勝	秋山 茂則	49	51	100	36 64
準優勝	成田真砂子	57	54	111	45 66
3 位	太田 茂	46	43	89	21 68
B B	小林 照子	63	57	120	36 84

(参加者 23名)

次回ハンディ 秋山君 25、成田さん 37
太田君 19、小林君 20
松島君 20

☆会長杯取り切り戦

優 勝 小山 雅弘君 石田喜容子さん

取り切り戦優勝者祝賀会を8月6日(火)

P. M. 6:00~松楓閣にて行いますので奮ってご参加下さい。

◇事業所移転のお知らせ

会 員 釜谷 健一君

事業所 信濃屋塗料㈱

新住所 〒461 東区葵3-15-31

住友生命千種ニュータワービル8F
(TEL・FAX 従来通り)

◇例会変更のお知らせ

名古屋瑞穂RC 8/1(木)親睦例会の為、
ハートランドカフェにて
P. M. 6:00より

名古屋南RC 8/7(水)Club Forumの為、
翠芳園にてP. M. 6:00より

名古屋和合RC 8/7(水)夜間例会の為、P. M.
6:30より

◇当クラブ例会休会のお知らせ

8月13日(火)は、例会場休館の為休会

◇次回例会(7月30日)

講演 “安全な食生活(食中毒)”

千種保健所長

笹野 英子さん (紹介 水野(民)君)

◇次々回例会(8月6日)

創立9周年記念例会(立食)